

エンゼルメイクを知っていますか？

～最後までその人らしく～

かつて家の中で大切にされていた家族・縁者の看取りの時間。病院で亡くなる人が増え、やがて死は日常生活から隠蔽されたものになりました。死に臨んで、その人らしい最期を迎えてもらうために、看取る側ができることは何でしょうか。今回の人権啓発講座では、エンゼルメイク研究会の小林光恵さんを講師に迎え、豊富な経験を交えながらお話いただきます。

とき

平成 23 年 3 月 22 日 (火)

14:30 ～ 16:30 (14:00 開場)

ところ

多摩市立関戸公民館 第1・2会議室
京王線・聖蹟桜ヶ丘駅前 ヴィータ・コミュネ8階

講師

こばやし みつえ

小林光恵さん

作家・エンゼルメイク研究会代表

定員

80 名 (申込先着順)
入場無料

エンゼルメイクとは…

死化粧は、医療の立場から見ればあくまで死後の処置ですが、最期のお顔を大切に考え、その人らしい容貌・装いに整えることは、亡くなった方に対する最後のケアです。

エンゼルメイクとは、医師が「ご臨終」を告げたのち、逝く人と看取る人がお別れをするその貴重な時間に行われるケア全般のことを指します。家族や縁者と看護に携わった方が一緒に、心をこめて亡くなった方のメイクをし、装いを整える。それは看取りの中で行われる、大切なグリーフ（悲嘆）ケアでもあります。

お申込み・お問い合わせ先

多摩市 くらしと文化部 市民生活課

電話：042-338-6857

FAX：042-337-7660

(裏面の申込用紙をご利用ください)

※多摩市公式ホームページからも
お申込みいただけます。

<http://www.city.tama.lg.jp/>